

報告

すみよい名張をめざす懇談会 2015.11.14 (土) 午後 1 時半～

懇談会にご参加のみなさん、ありがとうございました。以下、懇談内容の要旨を報告します。
今回は 20 名の方が参加、内 初参加で 5 名の方が来ていただきました。

すずらん (3)、赤目 (2)、梅ヶ丘 (1)、緑ヶ丘 (4)、美旗 (5)、百合丘 (4)、つつじが丘 (1)

司会進行：羽口か

ゲスト：新家 忠文氏 (三重地方自治研究会・世話人)

始めに三原さんから、これまでの数回の懇談会の経緯と今後への思いをコメントしてもらった後、ゲストの新家さんから津市や東三河地域の取り組みなどを報告してもらいました。

津市の場合

「こんな津市をつくりたい」と 11 団体＋自治体問題研究所＋労働組合で実行委員会発足
暮らしの実態調査と課題 (財政、地域自治組織、コミュニティ交通、産廃) の分析結果をパンフレットにして報告会などを実施。

東三河地域の場合

- ・東海自治体問題研究所の東三河地区の会員を中心に「まち研 (地域研)」を立ち上げ会員をつくる。
- ・三河地域の台風による農業被害や原生林、漁港、発電所問題などについて科学的な調査・研究。
- ・学習会や集会
- ・自治体への要請行動や意見書

名張市の場合

- ・町田市や大阪市など、全国的には財政チームが多く立ち上がっているが、
- ・今日参加のみなさんは多彩な方で、このこと自体が大事な財産。
- ・多視覚で名張を見直し、成果を出す課題や時期を決め、「まち研」結成を検討していただけたら。というアドバイスをいただきました。

出された意見

(メモ書きにそって要旨を書きました。発言の主旨をとり違えて書いている場合はお許しください。またご指摘ください。)

- ★ 初めての参加。名張市では何が問題になっているのか。子どもの置かれている状況や福祉の状況などに関心がある。
- ★ 津市は合併後どんな問題が出てきているか。合併で箱モノをつくると、10 年くらい経つとジワジワと効いてくる (問題が出てくる?)。市立病院でも光熱費が増え修繕費も増えてきたときいている。
- ★ 津やいなべ市は、箱モノはつくらなかった。志摩市がガス溶融炉をつくったが、サミットの後ごろには、維持や管理で大変になってくることが予想される。

- ★ 名張を知る以前に三重全体、津を見て、名張は何が不足しているか、何ができるかを考えないと。三重が4つの国からできていることを踏まえながら名張の問題も考える。
- ★ 初めての参加だが、みなさんは名張市の何が一番悪いと思っているのか聞きたい。私は名張に来て30年になるが、やっぱり大阪に帰りたい。30年ほとんど名張は変わっていないのではないか。買い物も医者も近くにない。年を取ったら暮らしていけない。住み続ける町として魅力がない。
- ★ 星もきれいし空気もよいが、車の運転ができなくなったら住みづらい町になる。10年ほど名張を離れていて戻ってきてみると国道沿いの大きな店がいくつも閉まっていた。商店街も寂れている。このままではあかん、何かできることはないか、何かして行かなくてはと思って参加している。
- ★ 今は私も元気に歩いているが、駅は無人になって切符は自動販売機。切符を買うのにおろおろしているお年寄りも多い。出かけたくても出かけられない状態がつくられてきている。
- ★ 名張市の現状を憂えて参加されている人が多いと思う。名張市の市民公共交通会議に市民委員として参加しているが、このたび市民アンケートの結果が140ページの冊子にまとめられた。寄せられている声は最低限の要求、これに答えられなかったら公共交通の会の役割を果たせない。公共交通と町づくりは不可分のもので同時並行でやるべきだと思う。
- ★ 私の住んでいる団地も30年経って住民も高齢化している。住宅地の中を大きいバスでなくボックスカーでも走ってくれればと思う。私もいよいよとなったら大阪や奈良の便利な老人ホームを探さないとあかんかなと思っている。
- ★ 夫の両親の介護、3人の子どもの子育てで平地を探して今のところへ来た。緑も多く駅にも買い物にも近い位置にある。大阪にいる時は5分圏で用が足せたがまわりはコンクリート。自然が身近にあることは変えがたいものがある。みどり号の立ち上げのときにもかかわってきたが、知恵を出し合えばすみよい町にできるのではないか。
- ★ みどり号に300万の投資と聞いたが、どれくらいの利用者か。少ない利用者に300万使うのは税の使われ方として不公平ではないか。
- ★ 税金は利用者数の問題でなく何に再配分するかだと思う。公共交通と言う点では今は過渡期だと思う。これからを見据えて、何が問題で今どうするかということだと思う。
- ★ 先のアンケートの回収率は46.9%で、コミュニティバスの利用は8%、回答者の80%は利用していない。乗り換え、時間、お金など利用者にそったものになってないという現状があるからだと思う。抜本的に考えなおさないと、それぞれのコミバスも赤字でやっていけなくなる。役所の担当者が事業者と利用者の利害調整をどこまでやれるか。
- ★ 乗らない人の意見をもっと聞かないとあかん。こちらへ来て30年になるが、住民も議員ももっと勉強していかなあかん、住みやすい＝競わない＝勉強しない＝怒らない＝責任を取らないという体質を変えていかないと。
- ★ 初めての参加だが、「便利な大阪に戻りたい」というご意見を聞いていてそれでほんとにいいのかなと思う。「便利のところへ行く」という考え方が限界集落をつくることになる。便利さでは首都圏はもっと便利だがリスク管理はどうするか。かつて名張では交通事故を起こしたら助からない時もあったが、住民の要望や運動で市立病院ができた。
- ★ できればテーマを絞ってもらいたい。コミバスとか病院とかかりつけ医の良好な関係とか。

- ★ 市の担当が一番わかる。名張市の職員もこういう場に加わってもらえることが大事ではないか。三重の自治労連はどうなっているのか。
- ★ 公共交通の問題では市の担当者に来てもらった。
- ★ 出前トークなどで市のプランを聞くことも一つ。市が持っているまちづくりのプランをプランだけに終わらせないように市民も議会も中味を勉強して動かしていくことも大事だ。
- ★ 名張も“町研”をつくってはどうか。毎回話が同じところでとどまってしまう。
- ★ そろそろ組織づくりもしていかなないとあかんのではないか。名称も明らかになっていない。
- ★ まだ、“町研”をつくるというところでの一致はむづかしいと思う。
次回をどうするかは、今日の中で一番出てきた交通問題などを次にもっと深めるとか、テーマを絞るのなら今日の参加者で決める方がよいと思う。
- ★ 公共交通は今行政もその土台を作ろうとしている。コミバスはこのままでは維持運営ができない。町づくりと合わせて市民がどんどん声をあげて行くことが大事。
- ★ 公共交通のあり方と町づくりについて議論してもらえたらよい。
- ★ TPPに関連して言いたい。「もう米を作ってもあかん、働きに行こうか」という話がいっぱい出ている。農業をしてもらうために大阪から若い人に来てもらっているが、やって行っても先がないのではないか。農村地域で研究会をつくって行きたいと思うが年も取っているのでなかなか旗もふれない。
- ★ 月1回の話し合いではなかなか進まん。月2回くらいやってはどうか。
- ★ 1時半～3時半では短い。やるんやったら6時くらいまでやったらどうか。
- ★ 交通問題は「公共交通の会」があるのだからそちらにまかせて、もっと名張市の財政分析など名張市のことを知ることが大事だ。
- ★ 次回については交通問題とこの会議をどうしていくか、2つをテーマにしたらよいのではないか。



次回は 12月19日(土) 1時半～4時半(会場は5時まで借りています)

場所は、「いきいき」第2会議室

中心テーマは ① 公共交通問題 ② 今後の会議のあり方について

- ① の公共交通については、議員さんや名張市の公共交通の会の委員さんからの報告をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。
お願いいたします。